

若者たちよ 読書をしよう

校長 城 美博

このたびの人事異動で、本校の校長に着任いたしました。充実した教育環境、指導力のある先生方、そして何より素直で可能性にあふれた生徒の皆さんに出会えたことを、嬉しく思います。

さて、佐世保西高校は、私がちょうど40年前に卒業した母校であり、かけがえのない「青春時代の思い出」(陳腐な言葉ですが他に表現のしようがありません)がたくさん残っている場所です。お世辞にも模範的な生徒とは言い難かった私ですが、自分のことは棚に上げて、今の佐世保西高の生徒の皆さんに言っておきたいことがあります。

私にとっての高校時代とは、社会人として生きていく基礎的な力を身に付けた時間であったと思います。厳しくも温かく指導していただいた恩師の先生方(鬼籍に入られた方も多くなりました)、時にぶつかり合いながらもともに学んだクラスメイト、そして何と言っても苦しい練習に明け暮れた部活動の仲間たち、そんな多くの学びや出会いに恵まれた3年間でしたが、今でも大きな後悔を感じていることがあります。それは、読書を怠ってしまったということなのです。全く読書をしなかったわけではありませんが、高校生という年齢にふさわしい読書が不足していたのは間違いありません。

小中学校までの私は、比較的読書好きな子供だったように記憶しています。ところが高校生になって部活動(私の場合は野球部でした)に熱中するようになって、とたんに読書から離れてしまったのです。こんなことが言い訳にならないのは百も承知ですが、毎日の家庭学習(これも怪しいものでした)に追われ、時間さえあれば少しでも眠りたいという心境だったように思います。しかし、高校を卒業して大学の文学部に進んだ私を待っていたのは、周囲の学生の圧倒的な読書量と先生の話している言葉が一体何を意味しているのかよくわからないという状況でした。それもこれも、高校時代の私の勉強不足、とりわけ読書量の不足が招いたもので、言ってみれば自業自得なのですが、私は完全に自信を失ってしまいました。

その後のことを書き連ねれば際限がなくなるので控えますが、大学生になってから必死になって濫読した経験を踏まえて言うと、やはり、高校時代にまとまった読書経験を積んでおくことは必要であると思うのです。特に、自分のことで精一杯になりがちな高校時代に、読書によって「他人の目」(メタ認知などと言われます)を養っておくことは極めて大切で、それがひいては自己理解や他者理解、適切な人間関係構築の方法、社会全般に関するよりの確な洞察を可能にするものだと私は信じています。同時に、読書によってさまざまな人間のありように触れることで、多様性を許容するような心の持ち方も可能になるのではないかと思います。

さて、佐世保西高校の生徒の皆さん(=後輩の皆さん)、ここに書いていることは40年も前の卒業生の戯言かもしれませんが、今年59歳になる私がここまでの人生を振り返って実感していることであり、加えて36年間に及ぶ教師生活を通して多くの生徒諸君の人生に関わる中で、読書の重要性を心の底から知る人間の真情です。

これからの皆さんの前途には、想像もしない様々なことが待ち構えていることでしょう。それにたじろぐことなく対処していくためには、個人の狭い体験だけではおのずと限界があるのは致し方ないところですが、読書の効用の一つとして、将来起こりうる事態に対する「疑似体験」という側面があることは間違いのないと思います。そのような実用的な面も含めて、面白い書物と出会い、純粋に楽しみ、貴重な見聞を得て、これからの長い人生を、豊かなものとしてほしいと心から願っています。

さあ、今日からでも、今からでも遅くはない。若者たちよ、読書をしよう。

1学年より

「きょうそう(強壮・競争・共創)~58Revolution」

「GO~~~~!!」「YA~~~~!!」の掛け声が板についてきた58回生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは新型コロナウイルスによって大切な行事が奪われる中、新しい入試制度に挑戦した中学3年生の日々を乗り越えて、ここ佐世保西高校に入学してきました。気が冴いていて、誰かの手伝いがスツとできる姿、一生懸命に話を聴こうとする姿から、その人間性の素晴らしさを感じることができています。

これから、この高校時代という、人生の中でも大切な3年間を通して、さらに自分自身を成長させていくため、自己の目標を達成するための戦いが始まります。「ダイヤモンドはダイヤモンドでしか磨けない。」「人の大切なダイヤモンド(=人間の尊厳)は誰にも犯すことはできない。」という言葉を意識しながら、人にやさしく、自分に厳しく、人との競争の中で、他人の価値観を知り否定するのではなく受け入れる広さを持ってほしいと願います。人とかかわることで自分の人間性も磨いていながら成長していきましょう。人生は探究です。学校の勉強も探究です。人間関係も探究です。常に、「なぜ?」「本当にそう?」「隠れた前提は何?」を考えて行くことで批判的思考力が身に付きます。学年カラーみどり色=58(ゴージャス)学年らしく、元気に、強く、たくましく、頑張っていきましょう!!

【第1学年主任 峯 悦子】

2学年より

『凡事徹底 2nd season』

57回生の皆さん、新しいクラスには慣れましたか?突然ですが、一年前どのような志を持って本校に入学したでしょうか。大学進学を夢見て?部活動の競技力の向上を目指して?それとも最寄りの学校だったから?理由はそれぞれあるものの、あっという間に一年という月日が流れました。一年を通して得た知識や、技術・体力の向上、級友との何気ない会話、公共の場での振る舞い方など、そのすべてが皆さんにとって学びであったことと思います。

さて、時間というのは戻りたくても戻れないものです。過去は過去として受け入れるしかありません。しかし、確実に歩んできた道でもあります。それは、一人ひとりにしかない道で、これからも自らが歩んで行く道です。一度、学年掲示板に書きました。

「これからは、今までを決める!」

過去には戻れませんが、これからの行動で変えることができると私は思います。

さあ、「凡事徹底」セカンドシーズンの幕開けです。

【第2学年主任 萩原 広太】

3学年より

現状打破!志高く道を拓こう!

早いもので、入学して3回目の春が訪れそして過ぎようとしています。56回生の皆さん、いよいよ勝負の一年が始まりました。昨年、君たちは、卒業した先輩方がコロナ禍で部活動最後の晴れ舞台の場を奪われ涙する姿や、授業が満足にできない中で懸命に受験勉強に立ち向かい大きな成果を残したことを一学年下の後輩として目の当たりにしました。先輩方が受け継いできた「西高魂」、次は君たちに託されました。さあ、君たちの番です。昨年君たちだって、難しいと思われていたふるさと創生の取り組みや研修旅行などを厳しい条件の中見事にやっつてのけました。ポテンシャルは持っています。ただ、安きに流れ自分への甘さを断ち切れていない人が少なからずいるのも事実です。まずは、現状打破!3年生になった今、強い志をもって一つ一つ自分の殻を打ち破っていきましょう。西高に入ってよかった、56回生の仲間と一緒によかったと笑って卒業できるように、この一年は、勉強、部活動、学校行事などすべてに完全燃焼していくことが目標です。一生のうち思い出したくもないほど死ぬ気で頑張った…そんな時期が1回ぐらいあってもいいと思います。あとは覚悟を決めて一歩を踏み出すだけ。これから一年間、君たちの戦いは、保護者の皆さんの戦いでもあり、私たち教師の戦いでもあります。お互いに励まし合って共に進んでいきましょう。

【第3学年主任 戸塚 邦彦】





新転任の先生方



<p>城 美博 校長先生</p> <p>このたびの人事異動で、教育センターからまいりました校長の城と申します。佐世保西高第15回生、40年前の卒業生です。</p> <p>校舎も制服も変わってしまい、私たちが在学していたころの名残は、旧C棟（現在の部室棟）だけになりました。しかしながら、母校は母校、勉強や部活動で悩み、思い通りにいかなかった高校時代を思い出しながら、校長としての重責を果たしていきたいと心に誓いました。</p> <p>どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	<p>大崎 洋子 先生</p> <p>家庭科を担当する大崎です。皆様のご両親よりも少し年上だと思えますが、先生としては新人です。今まで、教員以外の仕事をいくつか経験してきましたが、その内容が全て家庭科に通ずるので、授業の中で皆さんに経験談などを多く伝えていきたいと思ひます。ともに成長しましょう。よろしくお願ひします。</p>
<p>吉永 陽子 先生</p> <p>松浦高校から参りました。MRが走る風景は同じなので、少し安心しています。生物と地学を担当します。西高では新しいことにもどんどん挑戦して、自分の新しい一面を見つけたいです。授業以外でもできるだけ多くの皆さんとかかわりたいとおもっていますので、ぜひ皆さんの方から声をかけてください。よろしくお願ひします。</p>	<p>松田 紗奈 先生</p> <p>壱岐高校から異動してきました、国語科の松田です。春は、別れとそして出会いの季節ですね。今年は特に暖かい春で、佐世保西高校との出会いが素晴らしいものになりそうな予感がしています。これから、授業や部活動などの学校生活を通して、皆さんとたくさん刺激し合えたらと思ひています。よろしくお願ひします。</p>
<p>宮本 隼 先生</p> <p>皆さんはじめまして、新任教師で英語担当の宮本です。高校生活という皆さんの貴重な成長過程に携わることができ喜びでいっぱいです。是非とも充実した学校生活を送りましょう。</p> <p>まだまだ人間としても教員としても未熟な私ですが、皆さんとともに学び合いながら、これから成長していきたいと思ひています。</p>	<p>中島 巖 先生</p> <p>今年度より芸術家書道を担当します、中島 巖と申します。教員生活は初めてなので緊張の連続ですが、西高のみなさんと共に成長していこうと思ひます。授業、部活動など明るく楽しいものになるよう精進して参りますので、どうぞ宜しくお願ひします。</p>
<p>近藤 嗣敏 先生</p> <p>英語科3年担当の近藤です。教師歴四十数年の老体ですが、生徒達の厳しくかつ充実した高校生活の一助となれるよう頑張ります。学習の基本3Cは、Concentration（集中）、Continuation（継続）、Cooperation（協調）、生活の基本3Cは、Courtesy（礼儀）、Consideration（配慮）、Cultivation（修練）だと考えます。</p>	<p>末岡 緑 先生</p> <p>“今は佐世保西高が私の誇り 明日は私が佐世保西高の誇り” そんな大きな志を胸に秘めた生徒の皆さんとの出会いを楽しみに、一年間過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。</p>
<p>平野 将司 主任</p> <p>鹿町工業高校から異動してきました。事務の平野です。皆さんが安心して安全な学習の場を提供できるように一生懸命がんばります。皆さんも、「夢を持ち、語り、一隅を照らす人」となってください。共にがんばりましょう。</p>	<p>3月に多くの先生方をお見送りしましたが、今新たに9名の先生方をお迎えすることができました。</p> <p>これからも学習に、部活動に、共に活動していきたいと思ひます。</p> <p>これからよろしくお願ひします！</p>

【第25回佐世保西高校

吹奏楽部・コーラス部定期演奏会】

日時：4月25日(日)

開演14:30 (開場:14:00)

場所：アルカスさせほ 大ホール

*入場無料です!!



《4月・5月の行事予定》

25	(日)	吹奏楽部・コーラス部定期演奏会(アルカス佐世保)
26	(月)	新体力テスト・身体測定(1年)
27	(火)	歓迎遠足(予備日なし)
28	(水)	尿検査2次 内科検診 第1回育友会理事会
30	(金)	前期中間考査A時間割発表
10	(月)	前期中間考査A (~11日)
12	(水)	代休(5/15)
15	(土)	午前中授業・午後学年別育友会

※コロナ感染予防の観点より、行事予定は変更の可能性が
あります。ご了承ください。



